

～宇土市の早期復旧・復興に向けた～

“まちづくり座談会” 参加者アンケート 【集計結果】

回答者 人

問1： あなたの性別は？

① 男性 人

② 女性 人

③ 未回答 人

地区別 ① 宇土 人

② 花園 人

③ 轟 人

④ 緑川 人

⑤ 網津 人

⑥ 走潟 人

⑦ 網田 人

問2： あなたの年齢は？

① 19歳以下 人

② 20代 人

③ 30代 人

④ 40代 人

⑤ 50代 人

⑥ 60代 人

⑦ 70歳以上 人

問3： あなたのお住いの地区は？

① 宇土 人

② 花園 人

③ 轟 人

④ 緑川 人

⑤ 網津 人

⑥ 走潟 人

⑦ 網田 人

⑧ 未回答 人

問4： あなたのお住いの種類は？

① 持ち家 人

② 仮設住宅 人

③ みなし仮設住宅 人

④ アパート(みなし仮設住宅を除く) 人

⑤ 親類や友人宅 人

⑥ 市営住宅 人

⑦ その他 人

⑧ 未回答 人

問5： あなたは地域の団体に所属していますか？

① はい 人

② いいえ 人

③ 未回答 人

問6-1： あなたは宇土市に住み続けたいと思いますか？

① 宇土市に住み続けたい	215	人
② 市外(県内)に移住したい	2	人
③ 市外(県外)に移住したい	0	人
④ その他	4	人
⑤ 未回答	8	人

問6-2： どうして[問6-1]の回答を選びましたか？選んだ理由についてご記入ください。（重複回答あり）

①	(1)住み慣れた町	34 人
	(2)利便性が高い	27 人
	(3)地域とのつながりが強い	16 人
	(4)宇土市に愛着がある	21 人
	(5)生まれ育った土地	41 人
	(6)住みやすい	28 人
	(7)家族・友人がいる	10 人
	(8)自然がすばらしい	8 人
	(9)持ち家がある	5 人
	(10)職場が近い	3 人
	(11)その他	11 人
②	・車に乗れなくなった場合，買物ができない。	1 人
	・生活インフラに問題多すぎ。	1 人
	・生活環境に危険が多い。	

問5 (所属名)：	(1)嘱託会	21 人
(重複回答あり)	(2)民生委員	4 人
	(3)振興会	9 人
	(4)婦人会	25 人
	(5)自治会	14 人
	(6)消防団	8 人
	(7)体協	7 人
	(8)漁協	5 人
	(9)農協	3 人
	(10)PTA	4 人
	(11)市議会	1 人
	(12)老人クラブ	5 人
	(13)その他	36 人

～宇土市の早期復旧・復興に向けた～
“まちづくり座談会” 参加者アンケート 【集計結果】

問7：	策定方針(資料①P2～)に基づいて、宇土市震災復興計画(第1期)の策定を行っていきませんが、盛り込んだ方がよいと思う項目や内容がありましたら、ご記入ください。
1.緑川	<ul style="list-style-type: none">・地域全体の振興策・緑川地区ですぐ動ける組織を立ち上げる。・地域の支えあい(平常時、災害時等パターン別)・避難所のあり方・地域災害緊急対策センターなど立ち上げてもらいたい。
2.網田	<ul style="list-style-type: none">・宇土町までの車の運転ができない方々の交通手段の確保をお願いしたい。・防災拠点を明確にする。(強靱な場所で)・避難通路の拡張・高潮対策(大潮時、台風時は危険)・地区の公民館の屋根瓦の損傷のため多額の金をかけました。これもできるだけ補助金をお願いしたい。・避難拠点の整備(風・雨・地震等)・医療・人口減・農地集積・災害・高齢化対策・教育・雇用・交通
3.網津	<ul style="list-style-type: none">・防災マップ、避難経路の作成、配布、ネット上にあげる。・地震、水害の危険(がけ崩れ、洪水)から逃れる方法、訓練が必要。・防災教育の充実、今回の被災(地震、水害)状況をしっかり調査し、被害を極力出さない。
4.走潟	<ul style="list-style-type: none">・住民のアンケート調査・避難場所(災害の種類に応じた設定)・地震は津波の影響が想定される宇土市中心部でなく、走潟小学校への避難(2階、3階等)の検討を行って欲しい。
5.轟	<ul style="list-style-type: none">・(4)安心・安全なまちづくりの中に、「消防団の機能強化・装備の充実」を追加。③に自主防災組織へのサポートとあるが、消防団の関わり、サポートが不可欠。今回の地震後も、夜間の警戒巡視・避難所支援などで活動を行っており、改めて消防団は地域防災の要だと実感した。消防団の指導などを通して、自主防災組織の活性化を図って欲しい。・庁舎の防災機能強化・地域産業の復旧・復興・防災教育、復興教育(学校+地域)・災害時、災害が予想される時に、情報伝達の一つ的手段として、防災無線が使用されているが、この防災無線が大雨時、台風時、閉めきっている冬場は聞こえにくいという声があるし、特に高齢者の方々の情報伝達的手段として新たな設備等の導入も計画に盛り込むことはできないだろうか。

6.宇土

- 心のケア(子どもが特に取り上げられていますが, 災害弱者や普通の人も)
 - 広場, 学校(小学校~高校)全面開放及び夜間灯(被害時点灯する)
 - 地震直後…対応避難指示遅い。
 - 避難所運営のマニュアル化
 - 防災意識の向上(自分の身は自分(家族)で守る。行政に頼らない)
 - 明るい街づくり(駅周辺が県内どこも栄えていないので, 宇土市は率先して取り組んでほしい)。
 - 総合文化施設
 - 常設展示場
 - 防災組織の再構築
 - 公民館を自主避難所として活用できる様をお願いしたい。
 - 河川改修の早期実現をお願いしたい。
 - 公民館の活用
 - 仮設住宅→通常の住宅へ移転時期を明確にしておくこと。
 - 移住できない人の方策を明確にしておく。(例)高齢者は在宅支援策を受けられる等。
 - 身近な心のよりどころの確保
 - 人口動態の急速な少子高齢化
 - 第一次産業就労者の大幅な減少
 - 際立った東重西軽
 - 地域, 年代, 性別等による考え方の違いを考えた計画
 - 市街地の再開発
 - 「まち」「むら」の担い手の減少, それによる担い手の負担増
 - 買物難民, 交通弱者への対応
 - 小・中学校での防災教育の充実
 - 継続的なボランティアの組織化
 - 防災施設の整備促進
 - 防災機能の強化のため, 自主防災組織の活動推進
 - 解体後の土地の利活用(有効利用)の支援促進
 - 具体的な構想, 未来図
-
- 防災マップの見直し。
 - 他の自治体や民間企業との協定。
 - 心のケア(まずは市民が心身共に元気でないと, 地域, 経済も活性化しないと思う)

7.花園

- ICTを利活用した避難所運営等。
- 復興に携わる方も間接的に被災者ともみれる。その人たちの事も考えた計画を。
- 避難所の運営について, マニュアル等が必要ではないか。
- 他県からの応援者と市職員の連携は。
- 災害に関するデータベースを構築し, ①地域別②時季別③種類別(地震, 雨, 風など), 市民誰でもまとめて検索でき, 対策ができるように。
- 災害は地域毎に特徴があるので, それをはっきりさせ, 利用価値あるものに。
- 地域に起こる災害の多いものをしぼり, 自治会長に早めに通知する。
- 地域(地区)の状況に応じた避難所の設置。きめ細やかな指定地の設置。
- 当地では老人が多く, 遠く離れた避難所への避難は無理がある。安否の確認ができる。

問8【市民】：震災からの復旧・復興には、市民、地域、企業、行政が一体となって取り組む必要があります。それぞれに、どのような役割・取り組みが必要だと思いますか。

- | | |
|------|---|
| 1.緑川 | <ul style="list-style-type: none">・我慢・市民一人一人が意識を高め、地域の会合等に参加する。・助け合い |
| 2.網田 | <ul style="list-style-type: none">・協力体制・コミュニティの強化・水害の時は孤立します。どこにも車でも出る事はできません。・若い人が少ないので老人パワーを利用するしかないのか。 |
| 3.網津 | <ul style="list-style-type: none">・行政ばかりに頼らない「自分の地域は自分達で守る」の意識を地域住民で常に持つておく取り組み・協力 |
| 4.走潟 | <ul style="list-style-type: none">・益城町の現場を視察・自助と共助 |
| 5.轟 | <ul style="list-style-type: none">・全員参加によるふれあいをつくる。・その都度の市よりの情報を良く聞き取る。・自分が住んでいる所の近所の人との日頃からのつながりの再構築。 |
| 6.宇土 | <ul style="list-style-type: none">・普段から声を掛け合うこと。(民生委員さんをサポートする、一般住民の協力)・防災意識を高める。・家族の避難についての相談・高校の開放・広報の有り方・避難所(状況に応じて逃げる方向性)・協力・各種団体・会合への参画。・小さなグループを作る(近所、両隣)・それぞれの行動・地区で自助活動・防災の強化・連絡網(放送等)の見直し。・高齢者のフォロー・情報収集・食料, 飲料, 照明等の備蓄の確保・協調・自分で行えることは自分で行い, 積極的に近隣と交流する。・お隣さんとの近所付き合い。・市の政策に対する協力・自助。・損壊した危険住宅等所有する建物等の整理。更地にする。・市内の店舗を利用(経済活性化) |
| 7.花園 | <ul style="list-style-type: none">・子どもたちのケア・身のまわりの災害にもっと注意するように。災害は予防, 小さなうちに対処することが効果あり。・防災の点から災害に対する共通認識を持つ。・復旧の点からボランティア活動への参加。・前向きに生きる。 |

問8【地域】:

1. 緑川
 - ・地域の災対本部は良い意見だと思いました。
 - ・地域全体がまとまりができるような取り組みを行う。
 - ・相互協力
2. 網田
 - ・情報共有
 - ・隣, 近所どうしのコミュニケーションを取り合う。
 - ・コミュニティの強化
 - ・地域自主防災組織の見直し
 - ・高齢者の避難の誘導
 - ・一人暮らしの老人が多いので声かけが大事だと思いました。
 - ・小さな地域は高齢化が進み活力がなくなっている。
 - ・避難訓練の実施
 - ・土地の低い所が何ヶ所もあり, 大雨時現地の調査をお願いしたい。
3. 網津
 - ・自主防災組織の訓練の徹底
 - ・災害避難訓練
 - ・協力
4. 走潟
 - ・コミュニケーション
5. 轟
 - ・震災の時など各地区での炊き出しなどが必要となりますので, 各地区でも婦人会の人数を増やしてほしい。
 - ・地域とのふれあいが目に見えるようにPRしていく。
6. 宇土
 - ・地域公民館で気軽に茶話会等ができるような制度作り
 - ・元気な高齢者の活用(高齢者の生きがいともなるし高齢者への励ましにもなる)
 - ・地域の連携を高めることの必要性
 - ・街路灯の検討
 - ・高齢者, 自分行動弱い人の把握(注意喚起)
 - ・ケアホームの有効活用
 - ・助け合い
 - ・転入者やアパート等居住者とのコミュニティ形成。
 - ・まとまり
 - ・長期のボランティアの導入。
 - ・地域のつながりがなかった。
 - ・災害があったとき, 地域での役割を決めておく。
 - ・情報共有を行う。
 - ・声の掛け合い, 情報共有
 - ・災害の種類に応じた避難訓練の実施
 - ・有事の際の区長の権限拡大
 - ・協力要請の押し付けはしてほしくない。
 - ・取りまとめ
 - ・公民館を拠点として, 地域で良い付き合いを行う。
 - ・日頃から, 地域の会合を行う。
 - ・集会所(避難所)を各町内会単位に設置してほしい。概して遠い。
 - ・区長を中心とした地域つながりの強化

 - ・自主防災組織の充実
 - ・定期的な防災訓練を行う。
 - ・居住地域の清掃と住民や景観状況の把握・管理
 - ・共助を高める。
 - ・自主防災組織の強化
 - ・地域のネットワーク作り
7. 花園
 - ・仲間づくり。
 - ・自主防災組織が機能するように。
 - ・住民の連携・連絡が密になるような努力が必要, 安心安全には欠くべからざるものである。
 - ・防災の点から自主防災訓練(組織的)の実施。
 - ・復旧の点から共助の精神を持つ。

問8:【企業】

- | | |
|------|---|
| 1.緑川 | ・物品等の提供 |
| 2.網田 | ・支援・避難所化
・金銭的支援 |
| 3.網津 | ・敏速な対応 |
| 4.走潟 | ・企業間の問題を話し合う。 |
| 5.轟 | ・宇土市の方針に伴う人づくりをする。 |
| 6.宇土 | ・地域への協力
・独自の業務継続計画策定
・地域に根づいたボランティア。
・有事における避難所機能の必須化, ただし企業の規模による。
・地域協力
・近隣, 一般世帯との協力を。
・地元の方の雇用促進
・特産品の開発
・電気・水道等の復旧は早かった。今度も心強く思う。
・地域情報の発信
・雇用を増やす。頑張って営業する。
・宇土市での再建 |
| 7.花園 | ・地域の安全に対してもっと関心を持ってほしい。理解され喜んで受け入れられる。企業の利益にもなる。
・復旧の点から社会貢献活動への参加。
・経営者, 従業員が一体となった計画にする。 |

問8【行政】:

1. 緑川
 - ・復興計画を策定する内容が実現するように進めていく。
2. 網田
 - ・弱者への配慮, 情報発信
 - ・住民意見の更なるすい上げ
 - ・災害地区を早く見廻ってください。
 - ・行政がリードして復興をお願いしたい。
 - ・相談窓口の設置
3. 網津
 - ・降雨量と被害の関係を把握できるようにしておいてほしい。
 - ・きめ細やかな対応
4. 走潟
 - ・職員を増やす。
5. 轟
 - ・住みやすい町づくり。
 - ・今まで通り防災無線で情報をお願いします。
6. 宇土
 - ・避難場所の市民への周知
 - ・今回の地震について, 地震を知らない世代についての教育
 - ・リーダーシップ
 - ・フォローアップ
 - ・住民目線での運営。
 - ・適切な指示
 - ・災害時の連絡をしっかりと。
 - ・高齢者へのかかわり
 - ・議員, 特に国会議員の力を活用してほしい。
 - ・まちづくりのためのリーダーシップ調整
 - ・市民のニーズの把握
 - ・情報提供
 - ・即応予備自衛官のような制度の創設による人員確保(訓練及び報酬を含む)
 - ・情報発信
 - ・全部行うのは大変です。司令塔としての役割を。
 - ・色々な計画書の作成
 - ・情報の発信
 - ・各面にわたる財政援助
 - ・(恒常的な)ボランティア組織の立ち上げ
 - ・防災マップの改訂
 - ・指針を具体的に示す。
 - ・市が向かう先の情報提供, その他, 国へ通ずる手だて
 - ・国・県の支援を要望する。
 - ・支援
7. 花園
 - ・住民を守ることが最大の仕事, 国, 県の下請けではないことを大切に。
 - ・防災の点から地域の自主防災訓練への指導を行う。

問9【地区】:この地区及び宇土市全体がどのように復興していくことを望みますか。

1. 緑川
 - ・今後、災害があった時に、地域全体で助け合えるようなつながりや防災のネットワークなどの取り組みを行うことが必要だと思います。
 - ・安全な住む地域
 - ・前の光景に戻す。
2. 網田
 - ・均衡ある復興
 - ・当地区の避難道路を作ってください。
 - ・網田川
 - ・元通りになれば良いと思っています。
 - ・まずは川の修復をお願いしたい。小さな川ですが瀬戸川が上流で埋まっっていて、川の流れが変わっている。
3. 網津
 - ・網津地区は、網津川沿線の復興。
 - ・道路の復旧
 - ・河川の整備, 復旧
4. 走潟
 - ・地震前と同じように。
5. 轟
 - ・地区住民が集うコミュニティセンター・地区体育館の整備
 - ・子どもたちが安心して遊べるような場所があったらいいと思います。
 - ・危険な所を徹底的に直していく事と排水の強化を望みます。
6. 宇土
 - ・一日も早くブルーシートがなくなるように。
 - ・各企業, 店, 個人のボランティアができるのかのアンケートを取る。
 - ・市の中心となるべき都市計画
 - ・隣近所から。
 - ・地域(地区)によって、被災の度合いはさまざまかと思いますが、自助, 共助を心掛け, いい意味で市をあてにせず, 「自分たちでがんばる」気持ちを持たなければと思う。
 - ・快適な住まいや, 賑わう宇土地区を創ることを希望します。
 - ・宇土地区は, 人口が多い。予想よりも大きな要求を想定して防災計画を立ててください。
 - ・活気
 - ・市の中心地として活性化させることで, 市全体が復興するのではないか。
 - ・住居の復旧
 - ・利便性が高くなるように復興してほしい。
7. 花園
 - ・早く従前の生活に戻れる様にしたい。これを機会に強靱な建物の建設となればよい。
 - ・交通の便をよくする。
 - ・シャッター街をなくす。

問9【市全体】:

- | | |
|-------|---|
| 1. 緑川 | ・これまで様々な振興策の点検, 総括を行うべきである。特に高齢化, 人口減少等の背景をもと |
| 2. 網田 | ・避難路(防災センター)
・住宅被害
・安心安全なまちづくり |
| 3. 網津 | ・被災者の「すまい」確保支援
・公共施設の早期復旧 |
| 4. 走潟 | |
| 5. 轟 | ・古い公共施設を宇城市のように新しくする。
・シャッター通がなくなってにぎあいのある町になる用に望みます。
・宇土町の商店が早く復興してもらい活気を取り戻してほしい。 |
| 6. 宇土 | ・一日も早くブルーシートがなくなるように。
・以前のように建物を建て直す復興ではなく, 将来(50年以上)において災害に強いまちづくりが必要である。
・川水の利水…緑川系とかを取水し, フィルターを利用し供給水専用のタンクを設置
・交通の要(R57, R3)を活用したまちづくり(誘致, 移住等)。
・災害前より今後は発展
・復興格差が起こらないようにしてほしい。
・自分でできることを備えるとともに, 周りの人々と助け合える宇土市を創ることを希望します。
・まず復旧を。
・活気
・地区間でも交流し合い, 全体としての発展を。
・災害に強い都市づくり。防災の拠点の市庁舎が壊れることは残念である。
・高齢者や子どもが安心して過ごせるまち
・震災前よりも, 元気な宇土市として復興できることを望みます。
・景観の整備, 歩きやすい, 使いやすい, 行きやすい等。
・震災前より安全・安心な復興
・農林水産業・商業・工業等全ての分野で元気な市 |
| 7. 花園 | ・防災拠点機能を有する本庁舎の建設
・3.7万から人口がなかなか増加しない, どうしてだろうか。
・百円商店街の日にのんなっせを運行してもらいたい。 |

その他、何でもかまいませんので、ご意見、ご提案をお持ちでしたら、ぜひお聞かせください。

1. 緑川
 - ・これまでの「住みやすい」という概念が、災害に合わない、合いにくい。
 - ・地域の創造, また稼ぎやすい地域の創造
 - ・浜戸川の堤防強化をお願いします。
 - ・排水対策をお願いします。
 - ・宇城市, 宇土市等, 避難指示がでますが, 全員避難? どこに? どうやって? 等を思ったりします。指示は出さなければいけないのでしょうか。
2. 網田
 - ・地域の災害連絡マニュアルを作ったら。
 - ・空家対策: 高齢化が進み空家が増えています。何とか空家を利用できないか。被災者のすまい確保に必要。
 - ・二度とこのような災害は出ないと思いますが, 公民館等は個人のものではありませんので, 是非災害資金をお願いします。
 - ・常日頃, 西部地区への配慮に感謝します。今回の災害については, 宇土市の顔である宇土町内の復興を優先してください。市庁舎の復興も同様に願います。
 - ・地震の影響で石垣の崩落が多数。特に河川の石垣は二次災害を起こすため, 早期の対策を。
3. 網津
 - ・夜間イノシシが出て歩いて出られない。
 - ・小部田地先に仮埋立をしてあります。高潮対策として, 此处を埋立をして高潮に備え, 住宅, ノリ生産団地, 公共用地として活用してもらいたい。
 - ・今日の座談会に参加してみて, 行政にできる事はしてもらい, その前に各自が必要な備えをする事が一番大切だと思います。
 - ・個人個人がいつも七つ道具を用意しとかなければと思います。
 - ・今回の水害で私達の住んでいる笠岩地区は, どこにも逃げ道がなく, 孤立してしまいます。早い情報をお願いします。
 - ・網津地区自主防の連合会設置
 - ・情報収集がスムーズ。
 - ・網津川が氾濫しない方法を教えて欲しい。
 - ・網津地区の洪水マップ(土地が低い所)をカラー化してもらいたい。
 - ・住吉地区鮫鱈地区の堤防かさ上げ
 - ・宇土市の避難場所の中に, 住吉漁協が明示されていないのはどうして?
 - ・防災教育を充実させてください。
4. 走潟
 - ・今回の災害では「防災無線が聞こえない」という声をよく聞いたので, 例えば, 各戸に「防災連絡用のタブレット(ipadなど)」等を配布したりできればいいかなと思った。
5. 轟
 - ・消防団の装備充実
 - ・自主防災組織の活性化
 - ・今回の雨災害に伴い陳情を6件出しています。復興をよろしく願いいたします。
 - ・ウォークラリー(白山~水源地)を計画してもらいたい。
 - ・地震時・津波の発生のニュースが流れたとき, 市内各地区の高台に向かう道路は避難する車両で渋滞が発生しました。緊急車輛も通行できない状況にもなりました。各地区で実施されている避難訓練では, 全員徒歩ということになっているが, 一旦地震が発生するとみなさん自動車を使われることになった。緊急時の対応を考える必要があるのでは。
 - ・経営体育成事業の申請期限は延ばせないでしょうか。業者がいません。

6.宇土

- ・目に見えない精神面でのケアをぜひお願いしたい。
- ・宇土市だけの問題ではありませんが、災害支援復興車が渋滞に巻き込まれていました。何らかの方策が必要と思います。
- ・日本の地震災害、特に中越地震や東日本大震災の被害をテレビ等の報道を見て、個人的にはどこか他人事だと感じていました。今回の熊本地震において宇土市は大きな被害を受けました。宇土市役所も半壊を受けました。しかし、八代市役所でスプレーでの落書きもあるように、被害者によって危険度の意識が違うと思います。今後の地震の可能性を考えると市民の意識を高めること、そして、地震を知らない世代について教育を行い自助の意識を高める必要があると思います。
- ・ブルーシート、砂袋の配布…2～ヶ月であり役に立たず。→弱い(強靱な袋, シート)
- ・被災基準の見直し(地震については、古い基準では(M22年頃)少し東日本で見直しはあるが。
- ・学校関連の被災時の夜間灯(宇土高校)
- ・ハザードマップの作成
- ・震災後、たばこを吸いながら歩く人がいたので、災害後のマナー、対応のパンフレット(ホームページ)の作成。
- ・津波のみならず、台風、大潮等の要因により「高潮」が発生します。今後、海水面の上昇により、その範囲の拡大、恒常的な発生が想定されます。「海への対処」を検討ください。
- ・座談会へこなかった人への啓発
- ・記述式のアンケートは回答が難しいので、選択式が良いのでは。(短時間では無理)
- ・避難はできれば町内会単位が望ましい。各人の節制がきく。
- ・1年早く市役所の完成を望みます。

7.花園

- ・これまでは、住宅周辺のアパート世帯とはまったくコミュニケーションがなかったが、地区で支援物資を配給したことで大変喜ばれた。今後の宇土市においては、だれとでも仲良くできるまちづくりが必要と思う。
- ・花園公民館の復旧について、方向性を出してほしい。いつから利用できるのか、全く先が見えない。
- ・災害を認識・理解するには高度の専門的知識が必要ではあるが、担当者が短期間に配置転換されるので、詳細な相談ができない場合があるので、防災士、危険物取扱者資格者等を育成し、災害、危機管理担当部署にできるだけ配置してほしい。
- ・市の計画説明が欲しかった。一方的に住民に聞いても意見はでないのでは。
- ・電話にての被害問い合わせが数回あり、忙しいとは思いますが、直接現地に来て、見て、声を聞いて欲しいなと思いました。
- ・10代～20代の若い方々が宇土市の未来に夢を抱ける市からの復興計画や将来の町づくりプランが提示されるよう望みます。
- ・宇土市は観光地がたくさんあるので、市民では足りないの、市外に目を向けて観光で誘致したらいいか。ひまがあるかもしれないが、この際、ずっと計画を続けたら、宇土市にいくらでも金が落ちるのではないかと思う。
- ・今回の震災の対応について、総括がなされたのでしょうか。総括ができれば、広報うとにでも掲載されたいと思います。
- ・仮設住宅について、地元にも説明してほしい。